

「羽咋市公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」の策定について

1 行動計画策定の背景と目的

公共工事コスト縮減対策については、平成9年4月に国による行動指針が策定され、県では平成9年11月に行動計画を策定し、いずれも全庁一体の取り組みとして推進し、一定の成果を得ております。

本市でもコスト縮減に配慮し公共工事を実施していますが、依然として厳しい財政事情の下で社会資本整備を着実に進めていくことが要請されていることから、より積極的なコスト縮減対策が求められています。

このため、本市においても、コスト縮減を確実に推進するため、「羽咋市公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」を策定し、また、「定期的にフォローアップ」を実施し、全庁で取り組んでまいります。

2 行動計画の主要ポイント

(1) 取組項目

「より良くより安く」社会資本を整備するため、直接的な工事コストの低減を基本として、ライフサイクルコストの低減などの観点でも取り組み、総合的なコスト縮減を目指します。

コスト縮減の取組分野	施策数	項目数
工事コストの低減	19	101
工事の時間的コストの低減	1	5
ライフサイクルコストの低減	3	21
工事における社会的コストの低減	4	8
工事の効率性向上による長期的コストの低減	3	13
行動計画の取組施策 5分野	30	148

(2) 取組の期間及び数値目標

取組期間は、平成18年度から平成20年度末までとします。

数値目標は、平成14年度の標準的な公共工事コストに対して、1.0%以上縮減することとし、取組期間の最終年度に対する目標数値とします。

数値目標の算定対象は、工事コストの低減のうち、本市がコスト縮減額を算出する施策とします。また、からまでの施策のうち、縮減額を算出する手法が確立されていないものについては、取組数や事例等の確認を行うことにより、取組を推進していきます。

(3) 施策の実施に当たっての留意点

社会資本が備えるべき基本機能・品質を満足させた上で進めること。

下請企業等への不当なしわ寄せを生起させないこと。

入札談合等の不正行為を防止すること。

(4) 行動計画の実施状況の検証

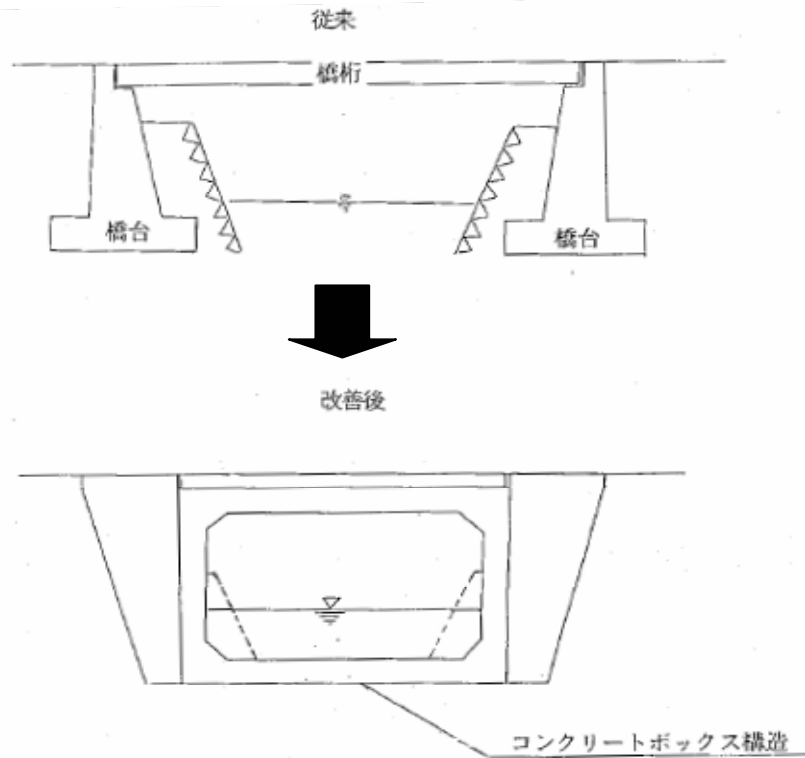
「羽咋市公共工事コスト縮減対策推進委員会」において、年度ごとにフォローアップを行います。

具体的施策についても実施状況を検証し、段階的に改善を図っていきます。

3 行動計画の施策概要及び主な施策事例

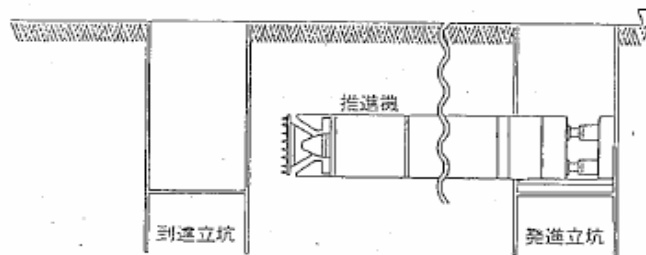
施策番号・施策名	取組内容及び主な施策事例
(イメージ図-)	
工事コストの低減	
ア 工事の計画・設計等の見直し	<p>工事の計画・設計等の見直し，工事発注の効率化等により，工事コストの低減を図る。</p> <p>(主な施策事例) ・ 整備手法や計画・設計諸元の見直し</p> <p>・ 既存植生，既存樹木の保存と活用の促進</p> <p>・ 技術開発の推進</p> <p>・ 大型プレキャスト製品の活用</p> <p>・ 建設残土の有効活用</p>
イ 工事発注の効率化等	
ウ 工事構成要素のコスト低減	
エ 工事実施段階での合理化・規制緩和等に関する施策	
(イメージ図-)	
工事の時間的コストの低減	
<p>工事期間の短縮等により，工事の時間的コストの低減を図る。</p> <p>(主な施策事例) ・ 集中投資による機能の早期発現</p> <p>・ 新技術の活用による工期の短縮</p>	
(イメージ図-)	
ライフサイクルコストの低減(施設の品質の向上)	
施設の耐久性の向上(長寿命化)	<p>ライフサイクル(施設の企画，設計，建設，運営，維持管理，解体撤去，廃棄まで)を通じてのコストを低減する。</p> <p>(主な施策事例) ・ ライフサイクルコスト低減技術を導入した橋梁の採用</p> <p>・ 長寿命防食構造物の採用</p> <p>・ 建物躯体の長寿命化</p>
施設の省資源・省エネルギー化(運用，維持管理費の低減)	
環境と調和した施設への転換	
<p>省資源・省エネルギー化により，ライフサイクルコストを低減する。</p> <p>(主な施策事例) ・ 自然エネルギーの有効利用、照明効率の高いランプの採用</p> <p>環境に調和した施設，バリアフリー化した施設への転換により，環境に係るコスト等を低減する。</p> <p>(主な施策事例) ・ バリアフリー施設の整備促進</p> <p>・ 排水性・透水性舗装の実施</p>	
(イメージ図-)	
工事における社会的コストの低減	
工事におけるリサイクルの推進	<p>建設副産物等のリサイクルを推進することにより，資源の有効利用や環境負荷量の低減を図り，社会的コストを低減する。</p> <p>(主な施策事例) ・ 建設副産物(コンクリート塊、廃木材等)のリサイクル推進</p> <p>・ 他産業から発生する副産物の有効利用</p> <p>環境改善により，環境負荷を軽減し，社会的コストを低減する。</p> <p>(主な施策事例) ・ 建設機械の環境対策(排出ガス等)</p> <p>現道上での交通渋滞を緩和するよう工事を工夫し，社会的コストを低減する。</p> <p>(主な施策事例) ・ 交通規制の集約化、施工時間帯の変更</p> <p>安全対策活動等の実施により，工事における安全性の水準を改善する。</p> <p>(主な施策事例) ・ 現場における安全パトロール等，安全対策活動の実施及び支援の充実</p>
工事における環境改善	
工事中の交通渋滞緩和対策	
工事中の安全対策	
(イメージ図-)	
工事の効率性向上による長期的コストの低減	
工事における規制改革	<p>各種の規制改革を推進する。</p> <p>(主な施策事例) ・ 技術基準類の性能規定化</p> <p>工事情報や手続の電子化等により，工事の効率化を図るとともに，建設業の情報通信技術(I T)利用を拡大する。</p> <p>(主な施策事例) ・ 工事関係書類等の統一化，電子化</p> <p>・ 建設 C A L S / E C の導入</p> <p>新技術の活用を促進する。</p> <p>(主な施策事例) ・ 建設工事における新技術の活用</p>
工事情報の電子化	
工事における新技術の活用	

工事コストの低減
<設計手法の見直し> 例 小規模橋梁の函渠化

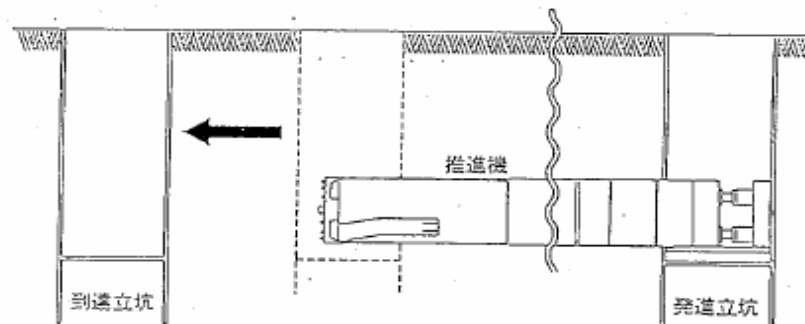


<技術開発の推進> 例 推進工事等の長距離施工

[従来の推進工法による工事]



[長距離及びカーブ推進による推進工事]



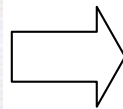
工事の時間的コストの低減
< 工事の時間的コストの低減 >

例 道路横断暗渠に耐圧ポリエチレン管を使用

コンクリートヒューム管
重いのでクレーン布設
コンクリート巻立て基礎

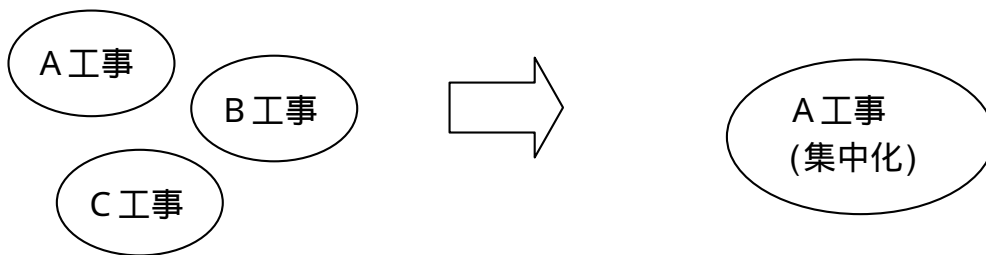


耐圧ポリエチレン管
軽量なので人力布設
砕石巻立て基礎



工期短縮で、通行止め期間の短縮
早期に使用が可能

例 工事箇所の集中化



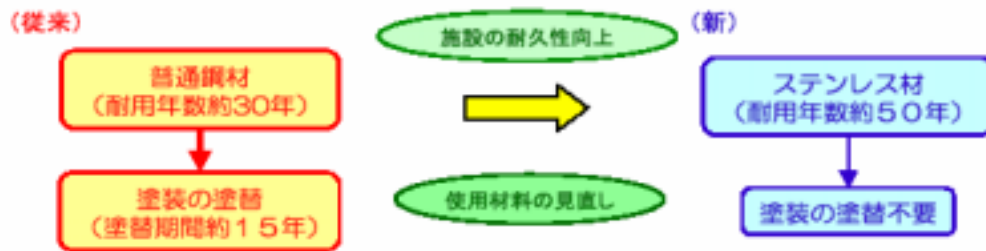
A工事の完成に3年かかる

A工事は1年で完成

機能便益の早期発現

ライフサイクルコストの低減
 <施設の耐久性の向上> 例 長寿命防食構造物の採用

ステンレス材を採用することにより、塗装が不要、維持管理費を軽減。
 耐用年数が長く、施設更新期間を延ばすことができるため、ライフサイクルコストを軽減。



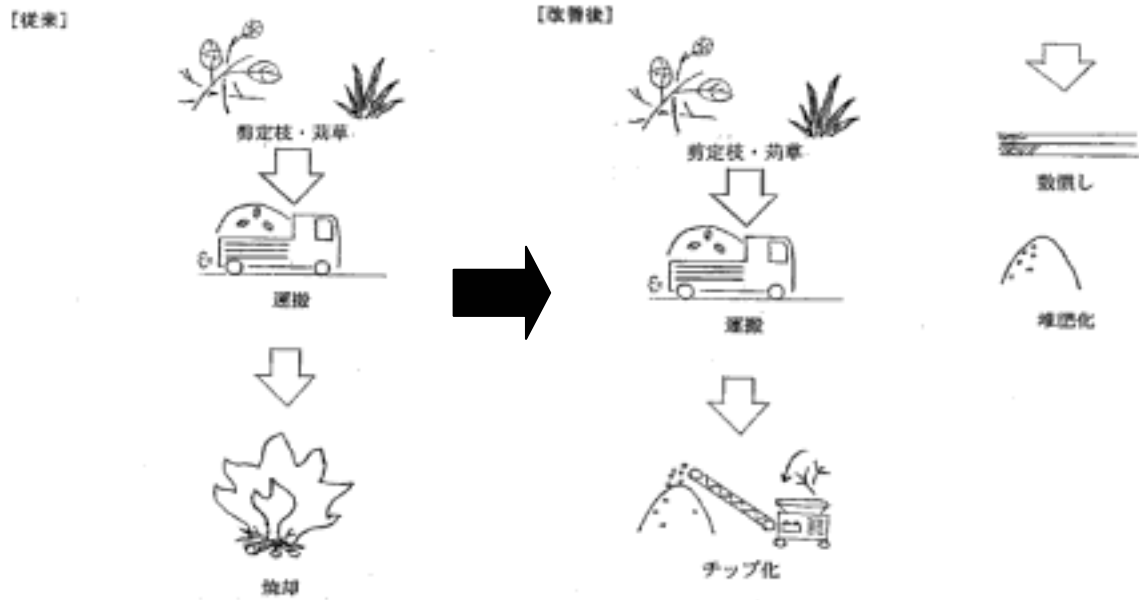
<施設の省資源・省エネルギー化> 例 照明柱、ランプの改良

点検の簡素化（内容、頻度等の見直し）。
 照明効率（ルーメン/ワット）の高いランプの採用により電気料金を縮減。



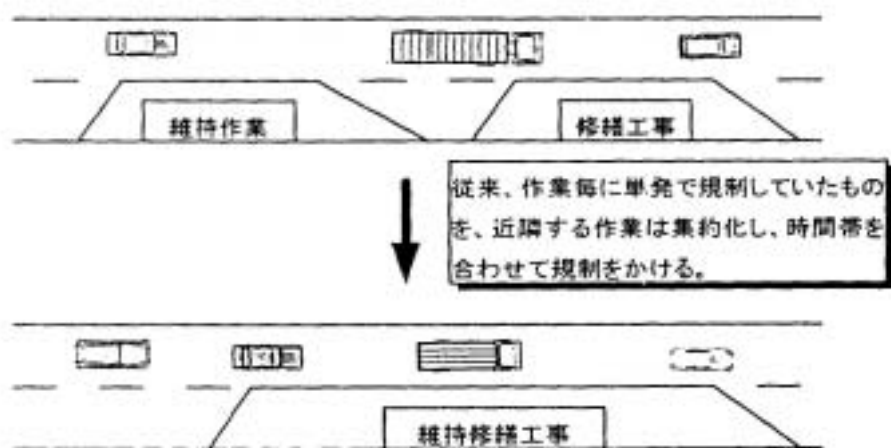
工事における社会的コストの低減
 < 工事におけるリサイクルの推進 > 例 剪定枝等の活用

植物廃材のチップ化や堆肥化を行うリサイクルを図ることで、廃棄物の減量化と焼却に伴うCO2発生の削減を図る。



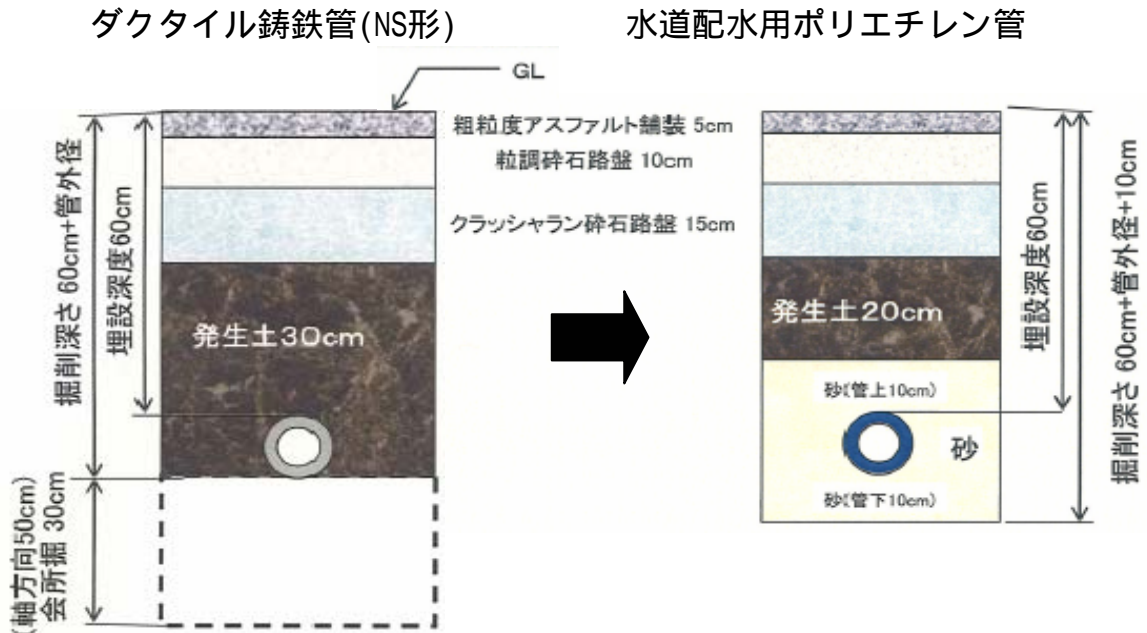
< 工事中の交通渋滞緩和対策 > 例 交通規制の集約化

交通量や工事量に見合った交通規制の集約化を行い、交通規制費用の削減や渋滞による移動コスト縮減を図る。



工事の効率性向上による長期的コストの低減
 < 工事における新技術の活用 > 例 水道配水用ポリエチレン管の採用

軽量化によるコスト縮減



< 工事情報の電子化 > 例 工事関係書類の統一化、電子化

事務の効率化によるコスト縮減

【施策の実施状況イメージ】

・工事施工における工事管理書類の作成・提出

書類が多く
打合せが
大変



インターネット
で協議・提出
時間の節約

・設計変更

計算・図書
の変更
時間がかかる



図書が電子
データなので
変更が簡単